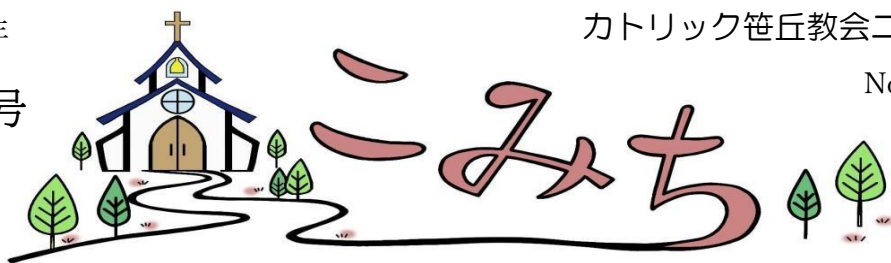


2023年

ご復活号



カトリック笹丘教会ニュース

No.0107

命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだすものは少ない。(マタイ7・14)





主のご復活のお喜び申し上げます

主任司祭 ペトロ・フランシスコ遠山 満

主のご復活のお喜び申し上げます。今、この原稿を書いている私は、復活の喜びを表現しながら、他方では、複雑な思いも抱いています。なぜなら、転勤があるからです。福岡に来て15年が経過しました。その間、皆様に大変お世話になりました。4月から、新しい環境です。どうぞ、皆様、お祈りください。私が、新たな使徒職に早く慣れていくように。

4月は、私だけではなく、多くの人にとって旅立ちの時です。旅立つ兄弟姉妹方が、新しい環境に早く慣れるように、共同体皆で祈りましょう。特に新しい所に行っても、皆が、教会から離れないように祈りましょう。なぜなら、故郷では、教会に熱心に通っていた兄弟姉妹が、親元を離れるや否や、あたかも教会を卒業したのごとく、教会に通うことを止めてしまうからです。このような現象に歯止めをかけるためには、私たちは、どのようにすれば良いのでしょうか。

まず私たちは、この世が永遠の命に向けた旅であることを認識する必要があります。この世は、しばしば母親の胎内にたとえられます。出産の時、母親は苦しみます。しかし、苦しむのは母親だけではありません。胎児も苦しみます。その苦しみのゆえに、人は、一度死を経験して、この世に生まれてくると言われます。胎児は、その時に備えて、胎内で準備をされると言われます。最後に、出産という大きな苦しみを経て、この世に生まれてきた時、父母の笑顔に出会います。それから、

「よく生まれてきてくれたね」という言葉を聞きます。私たちの生涯も似ています。私たちは、この世で永遠の命に入るための準備をしています。この世の様々な苦しみは、その時の準備のためです。死という永遠の命に入る門をくぐり抜けた後、イエス様やマリア様の笑顔に出会い、「よく来てくれたね」という言葉を聞きます。

それでは、イエス様はただ単に天国で私たちを待っておられる方なのでしょうか。いいえ、イエス様は、この世の旅路を喘ぎながら歩む私たちに同伴していらっしゃる方でもあります。ご聖体の内に、聖書のみことばの中に、主の名によって集う集まりの中に、弱い立場の人、私たちに助けを求める人の中に、毎日出会う人たちの中に、毎日の出来事の中にいらっしやう、私たちの歩みに同伴してくださっている方です。

新しい環境に置かれても、毎日出会う人の中に、復活されたイエス様を見出すことができるよう、信仰の恵みを願いましょう。そのために、新しい環境でも、教会に通うように致しましょう。



金祝

おめでとうございます！！司祭叙階 50 周年
マイケル・ヒルデン神父様

1973 年 6 月 16 日 アメリカ フィラデルフィアの アウグスチノ教会にて



神父様



神父様右 10 歳の頃



16 歳頃



2023 年黙想会静岡に 75 歳



大学卒業式 ご両親と



2022 年兄弟のご家族ご一同と記念写真

ヒルデン神父様の司祭 50 周年
を記念して インタビュー

Q. 50 年を振り返って、一番に思い浮かぶ、みことばを教えてください。

A. 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたたちと共にいるのである」(マタイ 28:20)。
イエス様がいつも自分のそばにいることは、大きな力と喜びを与えます。

Q. 一番感激したこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、苦勞したこと、それぞれ教えてください。

A. [一番感激したこと] 1981 年、長崎市の松山陸上競技場で吹雪の中、聖ヨハネ
パウロ 2 世の野外ミサに参加したことです。

[一番嬉しかったこと] 聖アウグスチノ修道会の新しい
兄弟たちの終生誓願式または司祭叙階式です。

[一番悲しかったこと] 日本の福音宣教のために、共に
働いた先輩の神父の兄弟たちの帰天です。

[一番苦勞したこと] 学院理事長として、不正を行った
職員の解雇をしたことはとても辛かったです。



1995 年ヨハネ・パウロ 2 世との貴重なショット

Q. アメリカのご家族とは連絡を取り合ってますか？

A. skype で毎週日曜日に連絡しています。



Q. ご家族から、50周年として何かお祝いのメッセージがありましたか？

A. 去年の休暇の時、家族が集まって、兄の80歳の誕生日をお祝いした際に、姪が私のために一年早く金色のケーキを作ってくれました。食べてしまいましたが、今写真だけが残っています。

「おいしかったです♪♪♪」

I made it.



Q. ご家族の方は日本を訪れたことはあるのですか？日本について驚かれたこと（こんなことはアメリカではしないとか・・・）はありませんか？ヒルデン神父様の苦手（土を食べているよう）なウナギが好物になったご家族はいますか？

A. 兄が仕事で数回日本に来たことがあります。2人の姉も三回ほど様々な日本の教会の特別な行事に参加するために来日したことがあります。兄姉皆、寿司と刺身が大好きです。彼らは日本料理を問題なくおいしくいただくのですが、自分の好まないウナギを彼らに食べさせる機会は与えなかったですね・・・（すみませんね!）



2022年

姉二人 神父様
兄夫婦

Q. 忘れられない他者のご恩はありますか？

A. 忘れられない日本の信者さんがいます。高齢者の K.T さんが私の司祭司牧の保護の天使になってくださったことは、忘れることができないお恵みです。毎年誕生日と司祭叙階記念日をお祝いし、共に食事をし、そしてそれぞれのお祝いに、私のためにごミサを依頼してくださいました。それだけでなく、この恩人は毎日私のために祈ってくださいました。同じ教会で働いている他の司祭のためにも同じようにしていたと思います。この霊的恩人は、いつも私の名前を日本語で「姫留殿神父」と達筆で書かれました。

Q. 日本語で、理解が難しい表現・・・文法・・・はありますか？

A. 若い時、漢字を見ないで意味を正しく理解することがかなり難しかったです。日本で最初の春を過ごした時、花粉症という単語を聞いて、蚊の「ぶん」が起こす病気ではないかと間違っ想像しました。高齢者になると、20代で一生懸命に覚えた単語がなかなかすぐに浮かんでこないのは困りますね。でも50年間日本に住んでも、毎日知らない単語に出会う楽しみがあります。

Q. いつも信者に心にしみるお説教をありがとうございます。信者に一番届けたいメッセージは？

A. 神さまに完璧に愛されている私たちが喜びと希望で満されて、絶え間なく消えない笑顔をお返ししようというメッセージを信者さんに伝えたいです。私たちのほほえみを通して、神の愛の光で周りの人々を照らしましょう。



侍者になって10年 ～ 培ってきた経験をいかに生かしていくか ～

ヨハネ Nさん

8歳の時に初聖体を受けてすぐに侍者(じしゃ)となり、はや10年が経ったヨハネ Nさん(18才)。そもそも「侍者」は、ギリシャ語で「アコルトス」(英語で「acolyte」=「アコライト」)からできた言葉で「ミサの時、司祭に付き添う奉仕者」を意味します。具体的にはロウソクに火を点けたり、ブドウ酒や水の容器(ウルセオルス)を運んだり、鈴(カンパヌラ)を鳴らしたりしてミサでいろいろ重要な役割を果たしています。信者にとって毎週のミサで見慣れている存在ですが、侍者の「正体」はよく知られていないことでしょう。そこで今回は侍者として知恵と技能を培ってきた菅さんの体験談を聞きました。

Q.侍者になった理由を教えてください。

A.初聖体を受けたら同年代の男子は自然な流れで皆、侍者になったので深く考えたことはありません。

Q.侍者になって間もない頃、失敗や苦勞、心配などはありましたか？

A.侍者を始めて3ヶ月しか経っていなかった頃に合宿があり、その時のミサの当番はたまたま自分ともう一人の新人でした。僕らは鈴の鳴らし方が全然分からなくて途中でパニック状態になりました。そこで先輩が合図でタイミングを教えてくれたので、助かりました。こういうミスが多かったですね。

Q.ミサ前後の準備・片付けの所要時間や内容を教えてください。

A.準備は約20分かかり、後片付けは10分くらいです。内容としては、準備は侍者服に着替えることやロウソクに火を点けること、水やブドウ酒がちゃんと容器に入っているかどうかのチェックなど。後片付けは全ての道具を香部屋に運んだり、ロウソクを削って形を整えたり、容器を洗ったりします。また、祭壇から全ての道具を外してからカバーを掛ける仕事もあります。

Q.侍者になって学んだことは何ですか？

A.先輩や神学生たちから教会のことをたくさん学びました。また、年下の人たちのお世話もできるようになりました。神学生がよその教会や外国の教会の情報を教えてくれたため、さまざまな教会のやり方を学ぶことができました。

Q.どんなことが一番難しかったですか？

A.鈴が難しいですね。まずはタイミングや音の大きさのコントロールに慣れなければなりません。鈴を持つ角度をちょっとでも変えれば、音が変わるからです。

Q.ミサに行きたくないとか、侍者をしたくないと思ったことはありませんか。

A.新型コロナウイルス禍のために一時的にミサがなかった頃のことですが、最初は「楽だな」と思いましたが、そのうち調子が狂って物足りない気持ちになりました。

Q.目指すもの、なりたい人などあれば教えてください。

A.チャレンジできる人はすごいなと思います。バックパックだけで世界一周とか。

Q.18歳が成人として法的に認められるようになりました。あなたの学年が初代となりますが、それに関するお気持ち・思いを教えてください。

A.18歳には選挙権がありますが、お酒を飲めるなどは20歳のままなので、完璧に「成人」という感覚はまだありません。「大人になりきれしていない大人」という感じです。

Q.今後はどのような予定ですか？

A.今年4月から京都の専門学校に入学し建築の勉強を始めます。実は、私の曾祖父は笹丘の旧教会や茶山教会、八代教会を設計しました。僕も仕事の一環として教会の設計ができてより使い勝手の良い教会が造れたら嬉しいですね。その時は、笹丘教会で侍者をした10年間の経験が参考になると思います。

侍者仲間の一人、13年間務めたM.Kさんは、茨城の筑波大学に入学しました。

笹丘教会でのたくさんのご奉仕ありがとうございました。前途を祈っています。

健康に気を付けて勉学に励んでください!!





2020年5月10日(日)笹丘教会にて受洗、そして2023年2月19日(日)高宮教会にて受堅しました親子です。

2012年母に脳の動脈瘤が見つかりました。その時、母が「洗礼を受けたい」と言ったので、私は軽い気持ちで「いいんじゃない!」と答えていました。しかし、その後、脳出血で倒れて、右半身まひとなり、言語中枢もダメージを受け、言葉の理解もしゃべることもできなくなってしまいました。

私はその頃、東京に住んでいましたが、「お母さんが倒れた」と連絡を受けたので、急きょ福岡に戻ることにしました。

このようになってしまった母に何をしてあげられるだろうかと考えた時、母の念願だった洗礼を授けてもらうことだと確信しました。母は雙葉学園で学び、私は春日のカトリック保育園で学び、またハー神父様と仲良くしていただいていたのですが、詳しくは学んでいませんでした。

母の雙葉学園時代の同級生で、後に代母になっていただくことになる親友に洗礼を受ける方法を色々教えていただき、笹丘教会の遠山神父様に会いました。色々教会を回りましたが、母は唯一この笹丘教会に心を開くような表情を見せたのでした。

母は言葉がわからなくなっていたため、私だけが勉強に行くことで、母にも洗礼を授けていただけると神父様からご承諾いただいたので、母のためにも勉強を続けました。しかし、間もなく洗礼が受けられるという時にコロナでミサができない状態になってしまいました。そんな時に今度は私自身にがんが発覚したため、遠山神父様に無理を言ってミサ中止期間中にもかかわらず、急きょ親友の代母の立ち合いのもとで親子二人洗礼を授けていただきました。

その後私は手術、抗がん剤治療などを経て、ようやく母を連れて教会にも足を運べるようになり、このたび晴れて堅信式を迎えることができました。

実は母が家で倒れたということが分かったのは、母が美容室を予約していて、その美容室の先生が予約時間になっても母が来ないということで、雙葉学園時代の親友に連絡していただき、それで母に異変があることが私に知らされたのでした。この命の恩人の美容室の先生は浄水教会、代母である母の親友は茶山教会の信者さんです。ご縁で笹丘教会の遠山神父様に会い、このように歩むことができましたこと感謝に堪えません。

神様の愛がたくさん奇跡を与えてくださり、私たちを生かし、救ってくださっていると感じています。これからもますます信仰を深めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

体験記



堅信式前、病に伏せて・・・

エリザベト(ポルトガル)N.T

堅信式の 10 日前、コロナ陽性と診断されました。「なぜこのタイミングで・・・!」と思う反面「ああ・・・やっばりか」という心中だったのは、その 3 日前に娘が陽性となったからです。幸い娘の熱は 1 日で下がりひと安心でしたが、自宅での隔離生活も虚しく私も陽性になってしまったのでした。一時は寝ていても息がしづらく「このまま死んだらどうしよう」と思うほどでした。そして、ふと「もし死ぬなら・・・子どもに最期に何と言うだろう」と思いました。

最初に浮かんだのは、濃厚接触者となり予期せず時間を持て余した時に読んだ本のことでした。それはファンタジー小説でしたが、物語の終盤、寿命を終えた仲間が「また」という約束を残して死ぬシーンがありました。「いつか、必ず、また会える」それは死が終わりでないことを信じているからこそ出ることばでした。

次に浮かんだのは、堅信式の勉強会でのお話でした。大航海時代、アフリカ大陸の南端の岬の向こう側は未知で、不安に満ちていました。海域が大荒れで、岬の向こうから帰ってきた航海士はいなかったからです。そしてついにその先に大陸があることを見つけ、人々に希望を与えたため、嵐の岬は“喜望峰”と命名されました。イエス様も同じだと遠山神父様はお話されました。私たちが、死がどういうものかわからず不安と恐怖に支配されていた時、イエス様が死んだ後復活され、死が終わりではないと伝えに来たのだと。その時はぴんとこなかった復活と永遠の命についてやっと理解することができました。

「またね」

私も子どもにそう言えると思います。天国を信じて生きていけること、また会えると信じられることはなんて幸せなことだろう。キリスト教に出会えて本当に良かったとベッドの上で思いました。そして、もしいつか私の子を残して死んでも、子どもたちがこの考えに触れ生きていくなれば、また会えると信じ生きていけるのではないかと思いました。神様が共におられると気づき、ほっとした気持ちになりました(はじめ幼児洗礼は考えていませんでしたが、コロナで洗礼の勉強会が中途半端になり、笹丘教会で再度勉強を受けるうちに幼児洗礼に導かれました)。

今回濃厚接触者とならなければ、私は買いためた本に手を付けなかったと思います。そして私自身が陽性とならなければ、このように考える機会もなかったと思います。ベッドで苦しむ時間がなければ、復活を信じる意味を理解しないまま堅信式を迎えていたかもしれません。洗礼から堅信式までコロナに振り回されたように感じましたが、すべてが神様のご計画だったと感じずにはられません。





おめでとうございます！！ 堅信式 2月19日 高宮教会にて
マザー・テレサ T.G さん マリア・インマクラータ T.G さん



母と共に無事受けることができ、遠山神父様をはじめ高宮教会の方々に感謝しかありません。

母の命の恩人が見守ってくださっている中で堅信式を受けられたことも感慨深かったです。



アベイヤ司教様にもお会いできて、感動いたしました。これから母と共に、信仰の道を一步一步あゆんでいきたいと思っております。ありがとうございました。

高宮教会にて
11名の受堅者でした

片山はるひ先生 講演会 3月19日11時30分～聖堂にて

上智大学神学部教授 ノートルダム・ド・ヴィ(命の聖母会)の会員

～～ 列福調査が開始された永井隆博士と緑夫人について ～～

講演を聴いて



原爆の荒野から
世界に「平和」

中高生用に書かれた本ですが、今まで脚光を浴びていない点も取り上げています。是非お求めください。利益は全て如己の会、列福調査へ寄付されます。

島根県に生まれ、長崎医科大学へ進んだ永井隆博士。カトリック信者ではなかった永井博士は、長崎医大のある浦上の地に住み、緑さんと出会いました。浦上の地で、生活と一つになった祈りに触れ、永井博士はカトリックに改宗し、自らカトリック信徒として神様と常に関わって生きる生き方＝靈性に導かれていきます。実直に忠実に、責任感を持って仕事に取り組み、ロザリオを手に祈り子どもを授かり、永井博士の靈性は深化されていく中での、原子爆弾の投下。その悲惨な状況下にあっても、寝たきりになりながらも、執筆活動に邁進し、平和を追い求めた永井隆博士。「長崎の鐘」で浦上燔祭説まで行き着いたその思想には、賛否両論あるのも事実かと思えます。しかし、完璧な“聖人”はいません。永井隆・緑夫妻の信徒の靈性を学び、私も祈りを大切にしながら靈性を保ち生きていきたいと素直に思います。この講演を聴いて、永井隆博士の列福活動に私も関わっていく覚悟を新たにしました。最後にはみんなで「長崎の鐘」を合唱し、感動に包まれた講演会でした。先生、ありがとうございました。

ヨセフ I.Y

行事報告



2023年1月8日(日) 成人式 おめでとうございます!!

笹丘教区では4名の新成人を迎えました。
当日はクララH.Mさんが参加されました。

たくさんの人の前で緊張したけれど、皆様からお祝いをいただいて、とても嬉しかったです。



エキュメニスム 合同祈禱会 1月22日(日)16時 西南バプテスト教会にて

司式 鳥飼バプテスト教会三田輝雄牧師
説教 カトリック笹丘教会 遠山満神父
当日はオンライン配信が実施されました。
お説教はユーモアに富んでわかりやすかったです。
残念ながら教会を探せず引き返した人も・・・
エキュメニスム部会のメンバーが参加しました。



ウクライナの方々のミサ 1月28日(土)15時～ 交流会 17時20分～信者会ホールにて

神父様の英語を参加メンバーの方が
ウクライナ語に通訳していました



ミサの最後には参加者全員に祝福くださいました。節分間近だったのでお豆をいただきました。
「鬼は外、福は内」の「福は内」を「福音(福 in)」とひっかけた単語を連発されていました。
取材できませんでしたが、戦争が終息するのを祈るばかりです

ゆきまさひろ ヤコフ・イグナチオ幸真宏助祭 司祭叙階式

2023.3.21 11時～ 大分教会

幸新司祭様は、大学時代(2011年～2015年)
笹丘教会に通われ、多方面で活躍され、当時の信者の
記憶に刻み込まれました。

晴れて司祭叙階を迎えられ感無量
です。当日は雨降りでしたが、温かな
雰囲気にもまれた素晴らしい式典で
した。赴任先の宮崎の小林教会で
幸神父様らしくご活躍されますよう
祈ります。

初ミサお待ちしております。



ミカエル山頭 牧夫(やまがしら まきお)神学生 笹丘教会の司牧実習を終えて～



実習最後の聖体拝領

昨年4月22日から笹丘教会で遠山神父様のお説教時の積極的なお手伝い、新しいミサの勉強会での指導、バザーの演出など、たくさんご活躍いただいた司牧実習生のミカエル山頭牧夫(まきお)神学生。実習期間が1月29日に終わり、笹丘教会から「巣立ち」しました。これを機にインタビューに答えていただきました。



新しいミサ曲の指導
♪ホザンナ～♪



クリスマスバザー時



手に大根をもってバザーの宣伝

Q. 笹丘教会の司牧の実習が終わり、今後の流れはどうなっていますか？

A. 期末テスト、黙想会、祭壇奉仕者選任式(3月5日)となっております。

Q. 司祭叙階はいつ頃かわかりますか？

A. 私も神様に教えてほしいです・・・

Q. 司牧教会との関わり方についてお尋ねします。司牧実習期間中、それが変わりましたか？どう変わりましたか？

A. いま出来ることを探している点では、あまり変わっていません。そのやり方を、笹丘の皆さまから学ばせていただきました。

Q. 聖書の好きな箇所、みことばを教えてください。

A. お言葉ですから、網を降ろしてみましよう(ルカ5:5)。

Q. 笹丘教会から受けた印象を教えてください。

A. お一人お一人の持っている物が違うため、どの教会も違うカラーを持っています。その中でも、積極的に行事に関わる姿勢や、それをサポートする神父様の姿が印象的でした。

Q. 司牧実習で一番学んだことは何ですか？

A. 自分の物の見方を、いつも広げていただいております。

Q. 笹丘教会の信徒へのメッセージをお願いします。

A. 本当にお世話になりました!ありがとうございます。

良い知らせを持って、ご挨拶に行きたいです。まずは、幸助祭の叙階式でお会いしましょう!



初聖体式に望む



七五三祝い



最後のご挨拶

幸助祭司祭
叙階式
3.21大分
教会にて



ペトロ・フランシスコ遠山満(とおやま みたる)神父様

笹丘教会 15年間ありがとうございました!!

笹丘教会主任司祭 2008年～2023年4月



高校時代信者でない私が遠山神父様とお会いできたのは、今思えば神様のご計画のうちだったのですね。まさか十数年後に親子で洗礼を受けていただく事に繋がるとは…! 神様と遠山神父様の導きに感謝しております。

エリザベト(ポルトガル)

遠山神父様、15年間ありがとうございました。教会建設の事や、小教区以外でもいくつかの役割を担い、ご苦労が多かったことと思います。神父様の健康と今後の活躍をお祈りいたします。

ペトロ



遠山神父様、笹丘教会でのお働き本当に感謝申し上げます。巡礼地での十字架の道行で神父様が耐えきれず涙して廻っておられるお姿が私には特に印象に残っております。これからも神父様の心とお体の健康をお祈り申し上げます。

マリア・ローザ

神父様、お世話になりました。毎年お誕生日には、お祝いのハガキをいただき神父様の私たちを大事に思ってくださいのお気持ちにとっても感謝しております。神父様のためにお祈りしております。ありがとうございました。

マグダレナ・マリア

高校生で教会にあまり来ていなかった私に1対1の勉強会をしてくださりありがとうございました。大学生の時に初聖体、告解、堅信の秘跡に与ることができました。お忙しい中で時間を作ってくださいましたことに感謝しています。笹丘教会で多くの人と会うことができました。

マキシミアノ・マリア・コルベ

母を見送る際は大変お世話になりました。遠山神父様の真心が心にしみました。感謝しかありません…

マグダレナ・マリア



2018年初聖体

神父様からの提案を頂いて始まったコーヒーコーナーも今年で10年になります。神父様からもらったチーズケーキのレシピはこれからも大事に作り続けます。15年間、本当にお世話になりました。

小さい花のテレジア

高齢者の集いアンナ・ヨアキム会での思い出話。スペイン語の得意なHさん、ラテン語はYさん、マリア様の歌、季節の童謡はみんなで♪Oさんの伴奏に合わせて歌ってくださった神父様の優しさ忘れません。手作りのおやつも毎回ごちそうさまでした。

ファティマのマリア

ますますのご活躍をお祈りしています。健康に気を付けられお元気でいらっやいますように。お世話になりました。ありがとうございました。

マリア・テレジア

『もうよい!勝手にするがよい!』188 殉教者の列福記念劇「捨てがたき 宗旨故」で遠山神父様が演じられた 細川のお殿様のセリフです。名(迷) 演技でした。皆さんと一緒に作り上げたこの劇は私の一生の宝物です。

ヨゼフ



2008年188殉教者の列福記念劇 遠山神父様のお殿様姿、超お似合いました

遠山神父様は聖堂建築の前で大変な時に赴任なされたことを思い出します。お疲れ様でした。これからもお体を大切にお過ごしくださいませ。

ヴェロニカ

遠山神父様、長い間お世話になりました。体調が良くない時、話を聞いてくださったり、メールをくださったり、お祈りくださったり・・・感謝しています。これからの神父様のご活躍と健康をお祈りしています。ありがとうございました。

マリア



笹丘教会のために多大なる献身的働きをなされたこと、笹丘教会の歴史に深く刻まれることでしょう。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

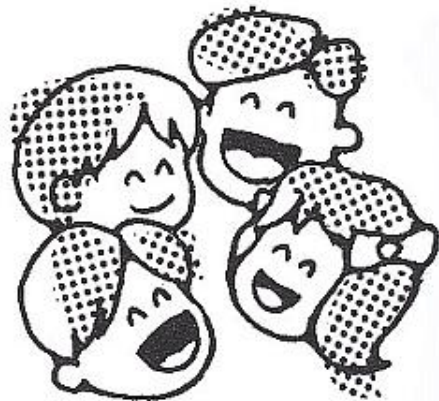
セシリア

遠山神父様、私の好きな「司祭たちのための祈り」(幼きイエスの聖テレジア)、「私たちに洗礼を受けた司祭」の箇所、いつも神父様のことを思い、胸がジーンとなります。これからも、ずっと。ありがとうございました。

ヨハネ



2015年



遠山神父様の呼びかけで始まった、手作り感満載の広報紙。今は「こみち」となり、編集委員も増えて内容も充実してきました。折々にアドバイスいただきありがとうございました。長崎でもどうぞお元気で、ご活躍をお祈りします。

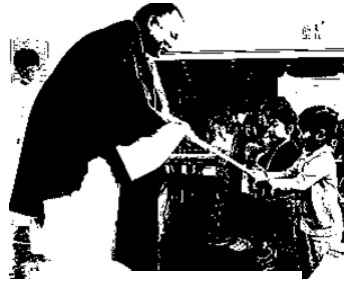
テレジア

急なお話で驚きました。思えばアツという間の15年間でした。聖書のお勉強会は、かなり充実していました。私の人生の中でも激動期でした。両親を見送り、夫や長男の病に将来の生活に不安を抱いて、教会の存在と繋がりに支えられました。その後7人の孫ができ、不安は払拭された訳ではありませんが、今の幸せに感謝すると共に、神父様を通して神様の偉大な存在を確信しています。城山教会では、一層の霊性が発揮されますようにお祈り申し上げます。

エリザベト

遠山神父様、いつもあたたかく見守ってくださってありがとうございます。遠山神父様が優しい声でお話してくれるのが、とても好きです。城山教会に行っても、笹丘教会に時々来てください。待っています。

テレジア



2019年七五三祝い

お祈りやお勉強、大切なことを遠山神父様にたくさん教えていただきました。寂しさと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも神父様のご健康と城山教会での穏やかな生活を心からお祈りいたしています。長崎に帰省する時には、お顔を拝見しに親子で参ります!

マリア・ロザリア

遠山神父様、15年間、大変お世話になりました。笹丘小教区共同体、また、多方面でも多くの仕事を抱えながら、謙遜にお働きになれる神父様の下で、微力ながらお手伝いを続けさせていただきましたことを感謝しています。神父様は、この15年間のご奉仕の中でも、たくさんの賜物をいただきました。城山教会に転勤されても、どうか、健康に留意され、その賜物を生かして、さらにご活躍されますようお祈りいたします。

テレジア

遠山神父様、洗礼を受けたくて教会を探している時に、どこに行ってもダメだった母が、笹丘教会の遠山神父様にお会いした時の笑顔を見た時に救われた気持ちになりました。導いていただいた信仰の道を一步一步あゆんで行きます。ありがとうございました。

マリア・インマクラータ



2018年アウグステノ祭
右は桑原神学生
(現助祭様)



いつも話を聴かれ行動に移され、温和な遠山神父様、短い間でしたが大変お世話になりました。引っ越してきて間もなく「田舎から送られてきたみかんです。どうぞ」とご配慮くださり、又教会と信徒の中心はイエス様ですよ!と言われ、聖書会や金曜日のご聖体礼拝の祈りをとってとても大事にされた神父様。長崎でもお元気でご活躍されますことお祈り申し上げます。感謝の内に。

マリア・エリザベト

遠山神父様、初めてお会いした時からスウツと馴染める雰囲気を持ち、最近はどうですか?と近況を聞かれる飾らない神父様でした。ミサの中でモーゼの十戒を噛み砕いて神父様らしい話術でひも解いてお話されて、好感度100%以上になりました。「いつまでもあなたの信仰と共にいる」お元気で。

マリア

遠山神父様、私が笹丘教会にお世話になろう!と決めたのは、悩む私に神父様がおっしゃっていただいた、「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」(マルコ2:17)です。全てを捧げて感謝いたします。

ヨセフ



2018年ご復活祭

異動・秘跡 (2022年12月～2023年2月まで)【敬称略】

堅信 2月19日 マザー・テレサ マリア・インマクラータ

洗礼 2月27日 ヨゼフ

転出 2月 使徒ヨハネ

帰天 1月1日 マリア・ミカエラ (93歳)

2月16日 アウグスチノ (94歳)

広報委員よりお知らせ

ご復活おめでとうございます *Happy Easter!!*

年度始めは、各種の業務・作業を改める時期でもあります。そこで「こみち」を皆さんにとってより読みやすいものにするため、広報委員会でいくつかの工夫を本号から実施することにしました。詳細は下記のとおりです。

- ① 漢字・かなの使い分けは、報道各社や企業の広報部門などで原稿作成の指標とされる「記者ハンドブック第14版 新聞用字用語集」(共同通信社)に準拠するようにします。例えば「…の為に」ではなく「…のために」とします。
- ② 執筆者を問わず、全ての記事で「です・ます調」に統一します。つまり「である調」を廃止します。これは、当委員会のメンバーが書くものにも、寄せられた原稿にも当てはまります。皆さんが気づかない程度の変更かもしれませんが、この新しい方針によって「こみち」をより気持ちよく読んでいただければ幸いです。お問い合わせなどはいつでも大歓迎です。今後ともよろしくお願いいたします!

編集後記

キリスト者として、人の役に立ちたい、徳のある行いをしたいとは、誰もが願うことだと思います。

一方で、失敗する、人に迷惑をかける、己の弱さに苦しむ…これらを受け入れ、捧げることもまた、キリスト者らしい生き方だと言えないでしょうか。

神であることを捨て、私たちを救うために残虐に傷つけられ、十字架に掛けられたイエス様。これほどやさしい神様が他にいるのでしょうか。自らも傷つきながら、その傷ついた御手で、弱い者を包み込んでくださる神様が、一体どこにいるのでしょうか。

やさしいイエス様、あなたに感謝と賛美を捧げます。そして遠山神父様、15年間本当にありがとうございました。
マルガリタ A.S



発行元：カトリック笹丘教会 広報委員会 2023年4月9日

〒810-0034

福岡市中央区笹丘1-16-1 電話 092-761-4504 Fax.092-761-4524